

## 一般質問を終えて ゆげの思い・・・

9月議会は27年度の決算を行う議会でしたので、一般質問以外でも委員会で質問致しましたが、紙面の都合上載せておりません。精神保健事業、こんにちは赤ちゃん事業、児童相談事業について質問をしました。

福祉や教育は、市民の皆様の生活と人生を大きく左右する重要な仕事なので、なるべく多くの要望に応えるべく予算措置をするべきだと思います。やはりセーフティネットをしっかりと張ることが、政治の基本だと思います。自己責任で済ませてしまっては、政治は必要ないのではないか!いわば守りの部分はしっかりと固める必要があると思います。

ですが守りを固めるためには、お金が必要です。これからは財源を確保する力、いわば攻める部分の力量が、政治家と行政には問われてくると思います。

現在、地方の過疎地域では、お金が無く、守るべき市民サービスのカットを行っている自治体が増えてきました。なぜそのような事になるまで、手を打たなかったのか?私は政治家と行政の危機意識の欠如であり、同時に市民の皆様の市政に対する無関心があったのではないかと思います。

坂戸市も今のうちに手を打たなければ、間に合わなくなるかもしれません。

守るべき市民を守ることが出来なくならないように、市民の皆様ももっと市政に関心を持っていただければと思います。

ついに坂戸市でも市議会の動画中継が始まりました。行政の現状を知れば、ここまででは役所にお願い出来るけど、ここまでは自分達で何とか出来ないかと、理解できる部分もあると思います。

「人民の人民による人民のための政治」が民主主義です。

みんなで協力して坂戸市を支えて行きましょう!そのための第一歩として

「市民の皆様!  
市の財源のためには、出来ればふるさと納税をしないで下さい( ̄▽̄ )  
もしふるさと納税するなら、謝礼品も貰えますので、どうか坂戸市にっ!!」



### ゆげ勇人 プロフィール

履歴  
1973年10月23日生  
坂戸市清水町在住  
坂戸あずま幼稚園卒園  
坂戸市立千代田小学校卒業  
坂戸市立千代田中学校卒業  
埼玉県立朝霞西高等学校卒業  
明治学院大学卒業  
坂戸理容美容専修学校卒業  
立教大学大学院修了

現在  
理美容室 経営(7店舗)  
学校法人 北埼玉学園 代表理事  
グルノーブル美容専門学校 経営  
坂戸市立千代田中学校 PTA会長  
第一住宅坂戸団地自治会 青年会長  
予算決算常任委員会 委員  
市民福祉常任委員会 委員  
坂戸・鶴ヶ島消防組合議会 議員

### ゆげ勇人事務所

ゆげ勇人

検索

住所 〒350-0214 埼玉県坂戸市千代田1-4-17 FAX 049-283-0923  
電話 049-283-0922 メール yugehayato@gmail.com

# 市政報告



9月議会において、  
「ふるさと納税制度について」  
一般質問をしました。



ゆげ  
行けッ! 活けッ! ゆげッ!



# ゆげ勇人の9月会議

## Q & A & Y

### 「ふるさと納税制度について」質問したのはなぜか？

先の6月議会において「将来の税収減を回避するため、若い世代・子育て世代の転入を促すために、他の市町村では行っていない、思い切った政策を実行すべきではないか！」と訴えましたが、市からの答えは「お金がないから出来ない。」というものでした。おそらく市民の皆様が市に何らかの要望をした時、最も言われる言葉がこれではないかと思います。僕はいつも思っていました。財源が限られてるのは分かる。高齢化がこれからも進み、市の負担は増える。昭和40年代に建てた多くの施設は老朽化し修繕も必要である。一方、現役世代の人は減り税収が減っていく。市民の要望に応え、あれこれも実行することは出来ないのは当然です。であるならば、税収を増やすための努力はしているのか？働く世代の人口以外に、考えられる税収増の手段は何なのか？国・県から来る地方交付税や支出金は減っていく。企業誘致も思うように進んでいない。市内産業も停滞している…これからの自治体は、「どのように予算を配分するのか」ではなく「いかに税収を稼ぐのか」の力量が問われてくると思います。そこで税収増のために「なにか無いのか？」と考えたとき、「ふるさと納税制度」は可能性があるのではないかと考えました。

### What's? 「ふるさと納税制度」を簡単に説明すると・・・

納税の種類	納税方法	リターン
通常納税	住民税を居住地に払う	何も貰えない
ふるさと納税	制度を利用し税金を払う	2000円の利用料を支払い、住民税額に応じた謝礼品を貰える。

寄附金でお米を貰い、肉を貰い、菓子を貰うことが出来ます。今まででは市民税を払っても、にもかく貰えませんでしたが、ふるさと納税は全国の様々な謝礼品を貰うことが出来るのです。いわばタダで、様々な商品を貰えます。

例

市民税5万円を市に収めている方の場合  
5万-2千円=4万8千円分  
ふるさと納税が出来る！

### 坂戸市のふるさと納税利益率 (他市町村居住者から納税してもらった場合)

こんな利益率の高い商売は、なかなか無いです！！しかも商品の送付業務はすべて業務委託しており、市の仕事は謝礼品開拓と税額控除書類を送るだけ。現在ふるさと納税専門の人員はおらず、市の業務の傍らで27年度利益が約2900万円です。おそらく多くの民間企業ならば、こんなに利益率が高く、マンパワーのいらない事業ですので、専門の人員を揃え全力で行うと思います。ちなみに昨年度収支全国1位の長崎県平戸市は14億6千万の黒字です。

ふるさと納税の本市における窓口受付と、ふるさとチョイスからの寄付の割合は。

ふるさとチョイスが96.3%です。

本市ふるさと納税において、インターネットサイトである「ふるさとチョイス」経由がほぼすべてだということ。ふるさと納税を扱うネットサイトは本市でも5つ程度あるが、「ふるさとチョイス」が自治体登録数において圧倒的N°1であることから、このサイトを使っていることは正しい選択だと思います。ただ、登録自治体が多いことから、謝礼品の数が何万点あり、選ばれるようにするには戦略が必要。

ふるさとチョイスで選ばれている本市謝礼品上位、上位10品は。

- ①ゆらゆら寝椅子（ブラウン）
- ②和三盆糖かすいたら
- ③美姿勢座椅子（ブラウン）
- ④防災リュック頭巾フリース31点セット
- ⑤レスキュー非常用品19点セット
- ⑥ゆらゆら寝椅子（ライトブラウン）
- ⑦防災食品5年保存水・アルファ米10個セット
- ⑧地酒「鶴齋」酒粕漬けセット
- ⑨ゆらゆら寝椅子（レッド）
- ⑩美姿勢座椅子（グリーン）

上位10品のうち、座椅子と防災グッズで8品ということです。

この2つの商品カテゴリーの謝礼品は、本市謝礼品上位総額の何パーセントを占めているのか。 6.2%

人気商品である、座椅子と防災グッズの品数を増やすことが、まずは効果が高いと思うが、実績がある実情を踏まえ、商品PRに努めていく。

売れている商品が分かれれば、同じ商品群の品数を増やすことは容易である。新たな商品を開拓するため、多くの事業所にお願いに回る必要がなく、座椅子と防災グッズを扱っている2つの事業所に、商品数を増やすてくれるよう頼めば良いわけだから、すぐに実行できる。

特化した商品はハイバルが少なく選ばれやすい傾向にある。昨日現在(9月13日)、ふるさとチョイス内の商品検索用、座椅子で行うと、商品数は全部で15点。その内、本市の座椅子が7点。約半分は本市謝礼品ということ。また防災グッズもふるさとチョイスにおいて、一つの商品カテゴリーで、他のカテゴリーに比べ全般的商品数が圧倒的に多い(牛丼:5996品、米:4890品、防災グッズ99品)ので、選ばれやすい。今後座椅子、防災グッズなどのように、検索しても他市町村で取り扱いが少なく、品ぞろえナンバーワンとなりやすい商品を、他に取り扱う予定はあるか。

釣り具やシャンプー・化粧品を折衝した結果、駄目だった。今後も開拓したい。

市内には通信販売で全国的な知名度を持つ会社がいくつかある。一度お問い合わせして断られたという事なので、ぜひ2度、3度と足を運んでいただきたいと思う。おそらくこのチラシを見ている営業マンの方は、「1度であきらめたの(「且」)と、笑っていると思う。



ゆげの質問



坂戸市の回答



ゆげの考え方

### 27年度坂戸市の状況 (県内 63 自治体順位)

順位	市	寄付金額	寄付件数	経費	利益	利率	謝礼品単価	他市流出額	ふるさと納税収支	収支順位
1位	鶴ヶ島市	275,145,590	12,337	158,202,068	116,943,522	43%	22,302	25,420,694	91,522,828	1位
2位	深谷市	173,075,395	3,066	64,755,526	108,319,869	63%	56,450	37,265,224	71,054,645	2位
3位	秩父市	125,446,001	678	57,414,043	68,031,958	54%	185,024	9,330,624	58,701,334	3位
4位	富士市	117,661,040	9,765	58,028,535	59,632,505	51%	12,049	7,598,068	52,034,437	4位
5位	上尾市	79,865,000	1,080	25,055,732	54,809,268	69%	73,949	92,854,535	-38,045,267	48位
6位	白岡市	63,638,101	4,059	33,696,575	29,941,526	47%	15,678	22,900,777	7,040,749	7位
7位	坂戸市	56,874,823	2,558	28,120,287	28,754,536	51%	22,234	33,310,364	-4,555,828	25位
8位	熊谷市	50,896,000	1,927	22,583,832	28,314,168	56%	23,413	65,588,209	-37,274,041	46位

本市寄付金額は県内7位なので健闘していると思います。ですが市内居住者が3300万円も他市に寄付しているため、収支は455万円の赤字で、収支順位は県内25位です。鶴ヶ島市が県内1位で寄付金額2億7千500万集め、収支でも9150万円の黒字を達成しているので、立地や産業構造を原因には出ません。やはり現在のように、とりあえず謝礼品を貰えるのではなく、選ばれやすい商品を戦略的に品ぞろえし、赤字どころか黒字に黒字化し、増えた税金を市民サービスに使うべく努めるべきです。それも出来なくて、「お金がないから出来ない」と言うのはおかしいではないか！



では、今後の流れとして、多くのふるさと納税利用者が欲しいと思っている商品のうち、本市で用意できるものは、なるべく商品数を増やし、本市でそろえることが出来ない商品は、すなわち本市産業に悪影響があまり無い商品は、関係の深い他市にお願いするという方が、現実的なやり方だと思う。本市で用意できない商品は、友好都市(新潟県南魚沼市)にお願いするのが合理的な選択だと思います。

本市の産業振興を念頭に、友好都市の商品に依存しきれないことを念頭に精査していく。



もちろん依存しきれないことが大前提。なぜなら本市の産業振興の問題だけではなく、今後の程度、継続して謝礼品供給をしていただけのことは、分からぬからです。今は南魚沼市自体がふるさと納税に力を入れていないのですが、今後ふるさと納税に力を入れるようになった時点では、本市への謝礼品供給はストップするかもしれないからです。



謝礼品を大幅に増やすことが難しいならば、別のアプローチとして、謝礼品の単価を上げることにより、寄付金を増加させる方法もある。例えば県内1位の鶴ヶ島市は寄付金2億7,500万円、寄付件数は12,337件です。寄付金を寄付件数で割ると、謝礼品の単価は22,302円。2位の深谷市は1億7,300万円で寄付件数は3,066件。謝礼品単価は56,450円。3位の秩父市は、1億2,500万円で678件。謝礼品単価はなんと、18万5,024円。もし謝礼品の数を大幅に増やすことが難しいならば、単価の高い商品を取りそろえることにより、謝礼品数は少なくとも、寄付金を増やす方法がある。

事業所の意向も踏まえ、謝礼品の金額設定について研究してまいりたい。



新たな事業所を開拓しなくて良いのだから一番簡単である。各事業所に既存商品より、単価の高い商品を追加してもらえば良い。または他市では農産物で寄付金額1万円のものを、年4回定期配送することにより、寄付金4万円の謝礼品にするような工夫をしている。単純に高額な商品を貰えるやり方だけでなく、工夫をすれば単価は上がる。



謝礼品を今後、どのようなタイムスケジュールで揃えていくかが、今年度の寄付金を増加させるためには大変重要。寄付件数の年間の月別推移についてお伺いいたします。

9月105件、10月169件、11月343件、12月1142件  
11月で通常の月の倍の寄付件数があり、12月は約10倍の寄付件数がある。11月末までの品揃えが勝負である。



坂戸市は他市とは違い、市内居住者がふるさと納税を坂戸市に行なった場合にても謝礼品をあげています。市内からの流出を防ぐための案として、市内居住者をターゲットにした独自の商品も必要だと思うが。

検討してまいりたい。

市内公共施設の無料券や、市内店舗限定のサービス券等が考えられるのではないかと思う。



リスクヘッジのために、南魚沼市以外に、防災協定をしている長野県中野市とも連携してみては。

産業振興を念頭に、あくまで依存しきれない観点で調整を進める。

寄付金を本気で増やすならば、友好都市を増やし、坂戸市に無い商品、すなわち地域産業に悪影響を与えない商品を、様々な友好都市から積極的に入れることが最も合理的な選択だと思う。地域産業振興を言い訳に、努力を惜しているだけではないか。

希少性のある謝礼品は大変诉求力のある商品。例えば飯能市では、ふるさとチョイス限定のムーミングッズを扱うことにより、ページビューを大幅に上げている。本市は(株)明治さんのカールおじさんがいます。また高級チョコレートのゴディバさんもある。坂戸市のページビューを上げ、まずは坂戸市の存在を知って頂いためには、全国的な知名度のある商品がどうも必要だ。ふるさとチョイスにおける人気商品カテゴリーは何でしょうか？

1度お問い合わせてみたが駄目だった。再度折衝するなどの努力をしてまいりたい。

今後の品ぞろえの流れを整理すると、まず、売っている商品を拡充し、ハイバルの少ない専門的な商品を増やす。本市で揃えることの出来る人気商品は出来るだけ品数を増やし、なおかつ出来れば全国的な目玉商品を用意する。そしてその中で、本市で揃えることが難しい商品は、友好都市にお願いするという流れがベストだと思う。本市のふるさとチョイス上の謝礼品数は昨日(9月13日)の時点です72品。同じく昨日時点で、昨年度埼玉トップの鶴ヶ島市は92品。全国一の品数を揃え、寄付金全国2位の静岡県焼津市は938品。昨年度全国トップ10の自治体における謝礼品数の平均は307品。まずは埼玉を目指すために、100を目指し、その後も拡充していくべきだと思う。今後3年間の謝礼品目標数はどの程度か。

謝礼品開拓に大変苦慮している。目標数は設定していない。新たな商品の開拓に取り組んでまいりたい。

相手がいることなので、簡単に品数は増えないとは思うが、市内事業所からふるさと納税に商品供給をして頂いていない現状を見ると、圧倒的に営業活動が足りないと思う。そもそも目標数が無い時点で、どの程度の事業所を回っているのか疑問。

今後謝礼品の拡充を図る際、ふるさと納税を担当している政策企画課だけではなく、日頃から地域の事業者と関係性を強く持っている商工労政課と緊密な連携をとり、共同で謝礼品開拓を行なったほうが、早く、多くの商品を取り扱うことが出来るようになると思うが。

関係部署と連携して、研究してまいりたい。

やはり役所は縦割り行政なので、他部署と連携して事業を行なうのはなかなか難しいようだ。商工労政課は商工業の発展のための仕事を行なっている観なので、事業者情報をもつと持っている。今後どの程度連携が進むのか注視している。